

特別研究科目 特別研究1・2A・2B Special Research 1・2A・2B

担当：研究指導教員

単位：各2単位 履修対象：1年（特研1）・2年（特研2A・2B）

学期：通年

科目のねらい・特色

修士研究に関する研究指導、またその過程と問題解決方法などの指導を、研究指導教員が研究指導にあたります。主指導教員には、研究指導資格のある教員があたります。また学生の取り組む主題が複数の領域に係る際には、同様に資格のある副指導教員をあて、その研究指導にあたります。このような複数指導体制でも教育研究指導の責任は主指導教員にあります。最終的な評価もまた主指導教員と副指導教員2名の合計3名で行います。特別研究1・2は各学年に対応し、2Aは2年前期に、2Bは2年後期に実施しています。この科目の単位を取得するには、積極的に研究指導を受けるだけでなく、学期ごとに複数教員との面接（自らの研究・作品の意図および内容、進捗状況などを説明し、それに対して意見、アドバイスを受ける）を実施する必要があります。また、1年次は年次制作発表において作品発表と研究中間報告、報告書の提出が必要です。2年次は構想発表と研究中間発表など、修士取得に掛かる発表等を必要とします。

到達目標

調査・研究を自ら実施し、修士研究を遂行する能力を身につけることを目標とします。また研究の深化と社会との接続を目指し、研究発表時のプレゼンテーションや議論する能力等を養います。具体的には所定の期間における複数教員との面談を行い、主査、副査との継続的な指導に従って調査・研究を進めます。そして、1年次の年次制作発表、2年次の構想発表や中間発表を行って、調査・研究を適切に発表するとともに、所定の報告書を提出することが求められます。

講義形態

ゼミ、面談、発表

講義計画・項目

- ・年次制作発表
- ・研究報告（修士研究構想発表、中間発表）
- ・特別面談

教科書・参考書等

主指導教員らが学生の研究主題にあわせて適宜紹介します。

評価方法

ゼミ内での発表内容、上記発表会等での研究発表、中間レポートなどを総合的に評価します。年次制作発表時あるいは修士研究構想発表時に研究報告書の提出が必要です。年次制作報告はA4サイズ5枚程度、修士研究構想発表はA4サイズ1枚程度を目安とします。進級の必要条件になりますので必ず提出してください。また、各発表会等への出席も評価に考慮します。